

HALOHALO Annual Report

# 2018

Make a chance to the world



特定非営利活動法人ハロハロ  
2018年度年次報告書



NPO HALOHALO

<http://www.npohalohalo.org>  
〒135-0033 東京都江東区深川 1-1-2-403  
TEL/FAX 03-6873-8412 MAIL [mail@npohalohalo.org](mailto:mail@npohalohalo.org)

## 事務局長からの挨拶（お礼とご報告書について）

2018年も多くの皆様の応援のもと活動を展開することができ、心から感謝申し上げます、誠にありがとうございました。私たちハロハロは2008年より活動を始めてから10年の節目となります（法人化2012年12月、6周年を迎えました）。

日本事務局、マニラ事業地、セブ事業地3箇所を拠点に、フィリピン人と日本人の職員とボランティア・インターン・プロボノたちで、常時約10名弱が相互に協力しあいながら活動を展開しています。

現場の人々、スタッフ、応援者一人一人が世界に可能性を広げる力になるという当団体の理念に共感し、今日の前にある社会課題に一つずつ向き合いながら地域社会の中で一歩を踏み出し始めています。この活動の広がり、皆様の想いを乗せ、はじめに期待していた以上の確かな成果が刻まれつつあります、その成果を少しでもこの年次ご報告書でお伝えできればと思っています。



特定非営利活動法人ハロハロ  
事務局長 成瀬 悠

## Contents

P2 事務局長からの挨拶（お礼とご報告書について）

P3 ハロハロ概要

P4-5 2018 活動ハイライト

P6-7 マニラ事業地レポート

P8-9 セブ事業地レポート

P10-11 日本事業地レポート

P12 Story from Manila

P13 Story from Cebu

P14 Story from Japan

P15 応援して下さる企業・団体・個人の皆様

## About HALOHALO

### ハロハロ概略

2008.10 代表成瀬悠、NGO LOOB でフェアトレード販促としてボランティア開始

2009.7 個人事業ハロハロプロダクツ設立

2011.1 NPO 任意団体ハロハロプロダクツに組織変更

2012.12 特定非営利活動法人ハロハロ設立

フィリピンのスラムで廃材を活用し手工芸で作られる雑貨の日本での販売を担った2008年から、現在は手工芸だけでなく小規模資金貸付、学校や奨学金制度運営、組織化支援、地域連携など広く人を育て地域発展に携わる活動となっています。

### ハロハロ概要

日本とフィリピンでまちづくりを展開中

**Our Vision**（目指す未来の社会像）

すべての人が魅力的に働き生きる社会

**Our Mission**（現在の取組）

フィリピンの貧困地域の人々とのパートナーシップ

のもと、持続可能な働く機会を広げます。

豊かさを共有できるライフスタイルを世界へ広げます。

1：生計向上 LIVELIHOOD

2：教育 EDUCATION

3：人材育成 EMPOWERMENT

### 活動 MAP

マニラ

セブ

ボホール

### 活動内容と地域分析図

|      |            | 生計向上 |        |        | 教育   |      |       | 人材育成（啓発） |      |      |        |
|------|------------|------|--------|--------|------|------|-------|----------|------|------|--------|
|      |            | 廃材雑貨 | シェルアクセ | 洗剤・マット | 資金貸付 | 幼児教育 | 再生 PC | 奨学制度     | 環境美化 | 国際交流 | 催事（出展） |
| マニラ  | バヤタス       | ○    |        |        |      | ○    | ○     | ○        |      | ○    | ○      |
|      | エラップ       | ○    |        |        |      | ○    | ○     | ○        |      | ○    | ○      |
| セブ   | シティオールマ    | ○    | ○      |        |      |      | ○     | ○        | ○    | ○    |        |
|      | シティオホーブ    |      |        | ○      | ○    | ○    | ○     | ○        | ○    | ○    |        |
|      | バヌグナワン（北部） |      |        | ○      | ○    |      |       |          |      |      |        |
| ボホール | アルマー       |      |        |        | ○    |      |       |          |      | ○    |        |
|      | 日本         | ○    |        |        |      |      |       |          |      | ○    | ○      |

# Philippines

# Japan

## マニラ ケソン市バヤタス リサール州ロドリゲス

巨大なごみの集積所を中心に形成される都市部スラム。ロドリゲスは集積所拡大に伴う再居住区指定地域。ごみの換金、露天商、ボランティアで生計を立てる人が多い。

### 協働団体

Paaralang Pantao  
未就学児のためのフリースクール

## 日本 東京・千葉 ほか

多様な人々が集う都市部にて充実した働き方や生き方を模索する人々を対象。

### 協働

全国のボランティア  
フェアトレードちば  
千葉にフェアトレードを広げる啓発活動とまちづくりグループ  
ハロハロ港区グループ  
港区から男女平等多様な社会づくりに取り組む

## ボホール ヘタフェ市 アルマール

海藻を育てて生計をたてる人々が暮らす孤島。

### 協働団体

Ajumar Seaweeds Farmers Association  
アルマールの海苔農家グループ

## セブ タリサイ市ドゥムログ メデリン市バヌグナワン

タリサイは人口の多いセブのベッドタウン。漁業や建築関係者の暮らすスクワッター地域が対象。メデリンは台風の被災地であり、さとうきび労働者の暮らす農村部スクワッター地域。

### 協働団体

Tulay Sa-Kinabuhi  
信仰を中心に人々の生活をよくしようとする人々の集まり

# NPO ハロハロ 2018 活動ハイライト

-Highlights from 2018-

## マニラ事業地



手工芸事業を行う ErapMindset グループ誕生



毎週 1 回、大学生同士で日本語教室を実施

## セブ事業地



セブ北部で家畜飼育による収入向上スタート



ボホールでマングローブ植樹による島の美化推進

## 日本事業地



フェアトレードフェスタちば 2018 開催



港区エシカルコミュニティが活動スタート

## 包括的事業



フィリピン・日本、7 箇所で  
地域開発を展開中



各地域の活動グループが  
目標をもって事業を推進中



セブ・マニラ奨学金制度で大学生 6 名  
高校生 5 名を支援

マニラ事業

Finally gathered one group "Erap Mindset" for income generation  
エラップマインドセットが立ち上がりました



**Training Recognition Day on March 2018**

2018年3月、1年間講習会に参加した人々を表彰



**Exhibition at Manila Japanese Events**

マニラで開催される日系イベント各種に定期的に出展



**Paaralang Pantao Preschool**

協働団体パーラランパンタオの幼稚園にはパヤタス約50名、エラップ約100名の児童が通う



**Paaralang Pantao Scholarship Students & Preschool Teachers**

協働団体パーラランパンタオは、大学奨学生制度と幼稚園を運営



**Social Problem Work Shop in Manila**

現場の人々とともに貧困について考えるワークショップを実施



**Japanese Language Class**

毎週土曜に、日本人ボランティアがマニラの大学奨学生に日本語学習を指導

Manila Project



数字で見るマニラ事業地

The Number of Manila Project Output

手工芸講習

 参加者数 **7名**

 実施回数 のべ約 **48回**

 AngKyut 雑貨販売実績 **426,435円**

啓発イベント

 参加者数 のべ約 **250名**

 実施回数 のべ約 **15回**

教育事業

 参加者数 **155名**

大学奨学金制度 (日本語学交流) **5名**

幼児教育補助 **150名**

セブ事業

Encourage 5 people' s organization management  
セブ州とボホール州で、5つの住民組織の活性化を促進中



MARS started Original Production  
MARS オリジナル製品の制作をスタート



Community Road Construction  
NGO 道普請人協力のもと住民が主要道を手作り



Support kid' s education cycle in the community  
地域に幼児教育が根付き発展中



Succeed Funding Garbage Truck  
2018年1月クラウドファンด์成立、軽トラを村のごみ回収に導入



Northern Cebu started Animal Raising Project  
セブ北部で家畜飼育による収入向上事業推進中



ASFA Member has great leadership in community  
ボホール ASFA のメンバーたちが地域発展を促進中

Cebu Project



数字で見るセブ事業地   
The Number of Cebu Project Output

ものづくり

|   |          |         |
|---|----------|---------|
|  | 参加者数     | 37名     |
|   | アクセサリ雑貨  | 7名      |
|   | 洗剤ドアマット  | 30名     |
|  | 実施回数 のべ約 | 48回     |
|  | 販売実績     | 42,890円 |

教育事業

|   |           |     |
|---|-----------|-----|
|  | 参加者数      | 40名 |
|   | 高校大学奨学金制度 | 10名 |
|   | 幼児教育補助    | 30名 |

マイクロクレジット (資金融資)

|   |        |     |
|---|--------|-----|
|  | 参加者数 約 | 90名 |
|---|--------|-----|

環境美化

|   |         |        |
|---|---------|--------|
|  | 参加者数 のべ | 1,300名 |
|  | 実施回数 約  | 60回    |

啓発イベント

|   |        |     |
|---|--------|-----|
|  | 参加者数 約 | 35名 |
|  | 実施回数   | 8回  |

日本事業

We approach "Global" and "Local" Community Development  
日本の地域も世界の小さな村ともに地域振興を



6th Anniversary of NPO HALOHALO  
応援者の皆様と成果を分かち合いました



First Step for International Cooperation  
Work Shop  
日本の若者向けに国際協力を促進する参加型学習を実施



Attend around 20 Exhibitions  
国際、環境、学校、地域のお祭りなど年間11箇所で開催



Fair Trade Festa Chiba 2018  
千葉でフェアトレードを推進する16団体が出展する催事を開催



Display "Fair Trade" Item and Posters for  
several exhibitions  
フェアトレードちばでも多様な催事に出展



Establish Minato Ethical Community  
港区内ではエシカルとジェンダーを啓発するグループが  
始動

Japan Project



数字で見る日本事業地   
The Number of Japan Project Output

サポーター・寄付者

-  応募者数 **105名**  
\* サポーター44名、寄付者61名
-  寄付金額 **922,926円**

啓発イベント

-  参加者数 約 **1,000名**
-  実施回数 のべ約 **12回**

ボランティア・インターン・プロボノ

-  参加者数 **45名**  
\* セブ・マニラ事業地含む

古本募金

-  参加者数 のべ **27名**
-  合計金額 **157,938円**

Story from Manila



Keep pace with people's grow  
人々の成長と歩みをあわせる

(英文)  
The year of 2018 was big "patient" challenge in our project area in Manila. Recently HALOHALO has set our project basic scheme to [ENCOURAGE GROWTH OF COMMUNITY GROUP]. It means, project is not belonging to directly HALOHALO, it's belonging to community group. The project ownership is not under the control of HALOHALO. Basically we just support capacity building and project/organization management. We watch over those community people and group growth. However, take look back to Manila Handicraft Project, the difficulty is people and group always vanished out. We held several trainings for teambuilding in these several years but nothing could reach of those rout problem. This 2018, we took silent action, just wait until people stand up. From March to September, that half a year felt like a quite long time, but finally, "Erap Mindset" group stand up and take ownership of handicraft project. They slowly start to make decision several things for meeting and for training. We respect this big one step of community people.

(日本語訳)  
マニラ事業地の2018年は大きな挑戦の年でした。最近ハロハロでは事業展開において【地域グループの成長を支える】という基本方針を設定しました。これは事業がハロハロのものではなく、地域グループのものであり、主導権も地域グループに属することを明確にしたものです。ハロハロは組織と事業を運営するに必要なサポートをしながら地域の人々とグループの成長を見守る役割を明確にしました。しかしマニラ事業については、成長を見守るはずの地域グループと人々そのものの存在が、砂をすくうように手の平からこぼれていってしまうことが課題でした。今まで何年も行ってきた講習会なども地域の人々を支え地域のグループ強化に必要な真のニーズには届いていなかったのです。そこで 2018 年 3 月から 9 月の半年はひたすら地域の人々が自ら立ち上がることを待ちました。10 月にとうとう ErapMindset グループが手工芸事業を継続すべく立ち上がり講習会やミーティング方針などを内部で決め始めたのは大きな成長でした。『止まって待つ』ことの大切さを再確認し、この一歩を大切にしていきたいと思えます。

Story from Cebu



Connect with other community  
他地域との連携

(英文)  
In Cebu, 2018 was challenge to connect with other group. Before our Cebu project area was just same community where our local partner organization be placed. Each project size are small as people's organization member number is around 5 and run only 1 or 2 project. Since 2016 - 2017, we started support to other community as like Northern Cebu and Alumar Bohol. Organization and people's Background difference makes big difficulty to understand each organization and building collaborate project. Speed of making a decision, each targeting goal understanding ... we have several things always need to discuss and compromise. HALOHALO is not established yet all project management "guidelines", those are very important when cooperate with other group. At Northern Cebu and Bohol, we step by step negotiate together and make original guideline for project reporting, monitoring and accounting ... etc. First year was always several misunderstanding happen, it makes each people's pressure, although, we now the end of 2018, we could share small project impact and feeling more better and smooth relation building.

(日本語訳)  
セブ事業地にとっては、他のグループと事業を協働展開する挑戦の2018年でした。今までのセブ事業は、現地協働団体も生活する主要事業地の中で、ある程度構築された人間関係の中で、関心課題ごとに5-6名の小さなグループ作りを支援し事業運営にあたっていました。2016~2017年頃には、セブ北部やボホール島など遠方の事業地出張ベースの事業も始まり、異なるバックグラウンドの人々と手探りで連携を構築し事業を運営する必要が出てきました。事業の展開速度や目標などを相互に理解していくことが大きな課題でした。どこかで鍵のかけまちがいがあって伝わっていないことや共通認識を持ってない事項も多く、事業実施にあたり何度も定期的な話し合いが持たれました。ハロハロ自身まだ組織として事業運営や会計のルールを構築している途中であり、他団体とそれを逐一相談しながらルールを事業地ごとに設定していく作業はとても地道で、時には関与する団体相互の人々のストレスにもなりました。ですが2018年終わりには、報告、モニタリング、会計などの方針もある程度提携が完成し、事業の小さな成果も共有できたことで、よりよい関係性を構築することができ、大きな経験となりました。

Story from Japan 事務局長 成瀬 悠



Think Global Act Local in Manila, Cebu and Japan  
セブ・マニラ・日本でグローバルに活動する



(英文)  
HALOHALO is struggled to make a basic scheme to support "Development of Glocal Human Resource" in these 10 years in Japan and in Philippines. Recently "Glocal" is more standard way for community development as typified by SDGs (UN Sustainable Development Goals). No more national boarder all over the global world. For our future sustainable community welfare, we really need to think global and act local. By these time changing, Our Glocal Human Resource Development action has more public understanding (when we start around 2008, it was really hard to tell people these things) . In Fairtrade Chiba group, we advocate citizens to do glocal community development through Fair trade Lifestyle. Now we have few core volunteer members who are students and adults to continue our project. This is what exactly the HALOHALO basic project scheme [support growth of community group] . 2017 to 2018, we also pushed establish "Minato Ethical Community" to advocate Ethical Life which aim to gender equality society. "Gender and Fair Trade" is one of main topic what HALOHALO is approached since started. One of former "Women Fairtrade" group activity, we restarted as this "Minato Ethical Community" .

(日本語訳)  
ハロハロは10年前の活動開始当初から、日本でもフィリピンでも、グローバル化社会で、世界と地域の両方の発展を視野にいれたまちづくりを行える人を育てる活動を行ってきました。近年SDGs(持続可能な開発目標)によって世界も日本もともに発展していこうというグローバルな考え方も主流になりつつあり、ようやく理解者も増えています。日本は日本というような国境のボーダーラインはなくなりつつあり、『地域福祉』を考える時、日本も世界もつながっており事例を共有しあい持続可能なこれからのまちづくりが必要とされています。10年前よりフェアトレードなライフスタイルを広げながら世界と千葉のまちづくりをしてきた『フェアトレードちば』グループも、地域の学生や社会人がボランティアとして積極的に参加する場になってきました。2017~2018年には、港区でエシカルなライフスタイルを啓発し男女平等参画を行う『港区エシカルコミュニティ』も活動を開始。ハロハロが設立間もない頃から取り組んできた『女性とフェアトレード』啓発活動の流れを汲んだ運動体です。ハロハロは【地域に人とグループを育て、持続可能なまちづくりを支援する】スキームを用いて、日本の地域社会発展にも貢献しつつあります。

ハロハロと世界にチャンスを広げる企業・団体・個人の皆様 ありがとうございます!!

個人サポーター 42名

守谷里緒奈、西本美貴、小島美里、土居千尋、小林雄大、藤原愛、大橋弘之、梶本尚士、庄司香、近藤浩人、黒柳英哲、坂口有果、西村拓人、田村美由紀、金子明弘、近江美保、引地信一郎、土居和也、鈴木久志、大塚洋子、StudioKei London、ふんどし王子事典—KFS214、海宝慎太郎、阿久根直智、後藤順子、山田高司、中村佳美、山野保、大森明美、吉川和之、中村寛、佐藤美由子、松原雄二、井上志穂、岩城妃佐子 他匿名(順不同 敬称略)

団体サポーター 1団体 らあ麺屋ひろ様

寄付者 合計60件

proud story プロジェクト、土居和弥、Feliz、KBGC、StudioKei London、佐藤史隆、ふんどし王子事典—KFS214、藤田崇広、城東高校、市村孝一、松原雄二、峰明良、浅川修一、市村和枝、林田雅樹、清水恵男、築紫政治、峰和子、相場克己、佐々木健至、JEC 海外ボランティアを支援する会、田室慶多、田原明、光岡毅、藤田博伸、光岡和隆、光岡香子、園田希恵、洋食かつ 兎、磯頭彦、千田正勝、株式会社コネクト&フロウ、Jeffrey Horton 他匿名(順不同 敬称略)

きしゃぼん×ハロハロ 古本募金

きしゃぼん×ハロハロ 古本募金  
合計27件 157,938円

gooddo×ハロハロ クリック募金

gooddo×ハロハロ クリック募金  
合計9件 3,829円

ハロハロの日本事務所スタッフ

理事:成瀬悠 庄司香 國井直温 村社淳 広瀬心也  
監事:吉川和之 潤間拓郎  
スタッフ:成瀬悠 藤田崇広 Kevin F Gabito(7月まで) Sherah Jane Rada  
プロボノ:山田高司 安田鉄平 廣瀬心也 海宝慎太郎 土井典子 田原明 落合茉紗

インターン

日本事務局 小島美里、佐藤美由子

マニラ 麻生実来 中村麻衣 ニノ丸裕貴 酒井雅美 杉崎かおり 吉田湖幸 野村沙代 高田博美 川崎千尋 反田遥南 飯島泉美

セブ 大橋早百合

フェアトレードちば 西沢美樹

ボランティア

日本事務局 加登優子 寺田美咲

フェアトレードちば 岩城妃佐子 山野保 小池彩乃 大濱綾子 北川諒

港区エシカルコミュニティ 田室慶多 稲葉哲治 片山雅恵

マニラ 江連明美 蛭田麻衣子

セブ 池田歩 川崎麻未

現地協働団体

マニラ

Paaralang Pantao ごみ捨て場のふもとの思いやり学校  
Samakabai ごみ捨て場のふもとの住民組織  
Vincentian Missionaries Social Development Foundation フィリピンの人権擁護団体

セブ

Tulay sa Kinabuhì セブ事業地のキリスト教プロテスタントのNGO  
Dumlog Fishermen Association セブ事業地の漁業組合  
Hope Mothers Group セブ事業地の女性グループ  
New Life Saving Cooperative セブ北部事業地の女性グループ  
Alumar Seaweed Farmers Association  
ボホール州アルマーの海藻農家組合

協力団体の皆様 ありがとうございます!

